



University of  
Osijek

和歌山大学経済学部主催研究会



wakayama  
univ.



# 中東欧における法・経済システムの変容と現代的課題

Change in economic and legal systems of Central and Eastern Europe since 1989

1989年に「鉄のカーテン」が取り除かれたことにより、中東欧では社会主義システムが消滅しEUへの統合が進んだ。この展開のなかで、中東欧諸国は法制度・経済の発展においてその明暗を分かちつことになる。同一の時代・地域において共に社会主義的な法・経済モデルを脱却した中東欧諸国の展開はいつ、いかなる要因によって分岐したのか。一帯一路政策やTPPなどグローバルな経済上の変化を経験している日本への示唆も視野に入れながら、欧州・日本・中国の法・経済システムに通じるベドラン・メザリク氏を報告者に招いて検討する。



## 講師紹介

1989年 クロアチア・オシエク生まれ  
2011年 パリ第2大学国際戦略地政学研究科修士課程修了  
2013年 オシエク大学 Master of Laws (LL.M) 修了  
2014年 ウィーン大学大学院博士後期課程進学(労働・社会法専攻)  
2017年 京都大学、中国法政大学にて在外研究  
現在 オシエク大学法学部非常勤講師、弁護士

専門は欧州・日本・中国の労働法・租税法に関する比較法研究。日本語も含め8ヶ国語に通じ、国際セミナー等を通じた和歌山大学とクロアチアとの交流においてはクロアチア側のコーディネーターを務める。

日時： **2017年12月20日(水) 16:30~18:00**

会場： **和歌山大学経済学部・第一会議室 (西3号館5階)**

講師： **Vedran Mesarić (ベドラン・メザリク) 氏**

お問い合わせ 和歌山大学経済学部経済研究所

Tel. 073-457-7633

e-mail: keiken@eco.wakayama-u.ac.jp